

放課後等デイサービス 自己評価表 調査結果

環境・体制設備

【課題・工夫している点】

|   |                                   |   |
|---|-----------------------------------|---|
| ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか        | けて十分とは言えない状況なので、日常的に公園での活動も行っている。個別学習室は、本来は学習や相談室専用だが、感染対策として今は臨機応変に活用している。 |
| ② | 職員の配置数は適切であるか                     | 10人定員で基本6人のスタッフが支援にあたっています。加配加算よりも多く配置しています。                                |
| ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 床はフラット。固定した家具は極力少なくし、身体が不自由なお子さんが移動しやすいように柔軟に対応している。手すりなどの器具は備わっていないのは課題。   |

## 業務改善

### 【課題・工夫している点】

|   |   |   |
|---|---|---|
| ④ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標と振り返り）に、広く職員が参画しているか              | 各自の課題や取り組み面での記録と、生活面（他児との関わり含む）の記録を付け、スタッフがいつでも読めるようにしています。<br>また、児発管と療育面での検討を定期的に行うようにし、その他に改めて支援計画に沿ってできているかなどの振り返りを正規職員で検討する時期を決めて行っています。  |
| ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 公表に向けたアンケートは今回始めて行いましたが、新型コロナウイルス感染予防対策で学校休校時の支援方法についてのアンケートを実施し、当事業所の考え方を示しつつ、保護者の方々の意向を確認し予防対策として分散支援など行いました。   |
| ⑥ | この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか                        | URLでホームページに貼り付けています。 むぎ畑通信を発行しているので、このアンケート結果も通信で配布しています。   |
| ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか                         | 特に現在は、行えていないので課題となっています。  |
| ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・当事業所で実施しているビジョントレーニングの理論や技術を学ぶために、川端眼科の視覚支援センター主催の研修。</li> <li>・今年度はオンライン研修にて、発達のピラミッドの土台となるメカニズムとその改善のためのプレインジム含む運動療法や理論を、シリーズで受講。</li> <li>・自主研修としては、発達障害と薬物についてや相談支援業務についてをテーマにした研修。</li> <li>・事業所内研修としては、発達の凸凹、偏りや困り感について。また今年に入ってから、実際に今利用している児への直接的支援に必要な取り組みを一部のスタッフではなく、関われるようスタッフ同士での自己研鑽を週に一度程度、非常勤スタッフの一緒に行っています。</li> </ul> |

## 関係機関や保護者との連携

### 【課題・工夫している点】

|   |  |  |
|---|--|--|
| ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい物が参加しているか                     | 必ず、直接的支援も兼任している児童発達管理責任者が参加している。   |
| ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 全ての学校ではないが、学校発行のお便りコピーをもらうようにしている。また、支援者が送迎もしているので学校の先生と様子を伝えやすい。何かの時には直接学校と連絡を取り合っている。  |
| ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか                             | 医療的ケアが必要な児童は今在在所していないが、リハビリが必要な児童には理学療法士に入室して指導を仰ぐなどしている。  |
| ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか                | 令和4年度から新一年生が複数利用するため、保護者の了解を得て連携をとる予定。保護者の了解が得られている場合は、児童発達支援事業所との申し送りはできている。  |
| ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか     | まだ、そういったケースは発生していないが、その際には保護者の意向も踏まえて情報提供ができるよう記録をとっている。   |
| ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか                          | 今年度はペアレントトレーニング指導者の研修を受講。  |
| ㉖ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか                                  | 児童クラブ等との交流は、当方の在籍の児童が放課後等デイサービスを利用していることを知られたくないというデリケートな思いもあるため直接的な交流は実施していない。近隣の児童クラブとはスタッフ同士が研修会をするなど、お互いが狭い保育感や支援方法にならないようにしている。その際は個人情報には十分気を付けている。     |
| ㉗ | (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか  | 機会がなかったものもあるが、参加できていない。  |
| ㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか                        | 連絡帳で活動内容や、気づいた点などを記している。保護者からも連絡帳に記載していただいたり、ラインやショートメールを活用しリアルタイムに伝えあいをしている。支援時間に届いたEメールの場合、受信に気が付くのが遅かったりと、返信が遅くなることがあるのが課題。                               |
| ㉙ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等を行っているか                           | ペアレントトレーニングといったものではないが、面談時の際や随時相談を受けた時に、ご家庭の環境は状況を考慮しつつ家庭での相応しい対応などを助言したり、また反対に家庭の対応から、当事業所での対応の見直しや課題点を伝えあるように努めている。R3年度は保護者グループでペアト的な講座を企画して案内することを予定している。 |

## 適切な支援の提供

### 【課題・工夫している点】

|   |   |  |
|---|---|--|
| ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 必要なお子さんには、当事業所で実施できる範囲の検査を行いアセスメントをしている。<br>事業所でのお子さんの姿と、学校や家庭での様子を把握して保護者の要望や思いを聞   |
| ⑩ | 子どものために行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか                  | 必要に応じて、当事業所で実施できる検査を行い、それも参考にしてアセスメントしている。   |
| ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか                                       | 正規が4人いるので、その4人とは日常に伝えあい、一人ひとりの取り組み（療育）を検討している。   |
| ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか                                     | 当事業所は、居場所的支援の他、その中で個別対応をしているので、個人のニーズで柔軟に対応している。   |
| ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか                         | ⑫で記しているように、長期休暇であっても居場所的小集団の自由活動の他は個別であることで、児童自身が取り組みを実施する時間をその都度、支援者と相談して、自発的に行えるようになることを目標に置いている。また、R2年度はコロナ感染防止の観点からも、R1年度に行っていた全体での行事や取り組みは自粛した。 |
| ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか            | ⑫ ⑬で記した通り。   |
| ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか            | 行っている。タイムテーブルも作成し見える化して、打合わせ内容が風化しないようにしている。   |
| ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか       | できる限り行っているが、送りに時間が要する等の場合が多いので全体での振り返りは困難だが、記録し翌日の支援時間前に確認するようにしている。   |
| ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか                    | 連絡帳の書式を個人のニーズごとに作成しており、それを保管している。日々の業務日誌の他、特記すべき内容は別ファイルにして対応の課題点が浮き彫りになるようにしている。  |
| ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか                  | 半年ごとに計画を作成しているため、その真ん中の3か月ごとに記録から計画変更の必要性や計画がどのくらい進んでいるか検討している。  |
| ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか                             | 当事業所の個性も尊重しながら、ガイドラインの基本活動を念頭にいれて支援している。   |

## 保護者への説明責任等

### 【課題・工夫している点】

|    |   |  |
|----|---|--|
| ③⑩ | 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか                                   | 契約時の他、支援内容については面談の時や連絡帳においてその日実施したことを記載しています。  |
| ③⑪ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか                           | 連絡帳の他、開設時間以外でも、保護者の方と電話やラインやメールにて対応しています。  |
| ③⑫ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか                       | 保護者同士の交流は、施設の性格上実施するのは難しいと感じています。<br>運動療育は保護者も参加してもらおうので、小グループで行う時もありますが<br>コロナの感染対策もあり、基本は一家庭で実施しています。  |
| ③⑬ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 苦情そのものがほとんど出てはませんが、こちらからお伝えすべきトラブルなどは状況に応じて、ご家庭に直接電話等で説明し、対策などもお伝えするようにしています。ご意見を頂いた際には必ず職員で共有し、見通しや対策などを検討してから再度保護者の方にお伝えしています。   |
| ③⑭ | 定期的に会報などを発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか                  | 通信を出していますが、発行月を決めているわけではないので、頻度を決めて発行を増やすなどの必要性を感じています。  |
| ③⑮ | 個人情報に十分注意しているか  | 当方のミスで配布物を間違えるなどの個人情報の面でのヒヤリハットがあったので、再発防止に努めたいと思います。  |
| ③⑯ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか                                | 保護者の方がお仕事をしていたり、お子さんが近くにいると話しにくいなどゆっくり話せない場合も多いので、運営時間内以外でお話することの方が多いです。<br>しかし、逆に運営時間に頂いたメールに気が付かなかったり、返信できずに過ごしてしまうこともあり、連絡が遅くなることも多々あったのが反省点です。   |
| ③⑰ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか                                 | 個人情報の問題もあるので、地域との交流は慎重にしないといけないと考えています。その上で地域に開かれた運営になるためにはどうすべきかを検討していましたが、感染対策上でも無理に行うことはないと考え、企画していません。子どもたち活動のちょっとしたスパイスになるように、講師を招いての工作教室を感染対策も考えながら実施しました。色んな団体に放課後デイを知ってもらったり、発達に偏りがあるお子さん達についての理解をしていただくのにも良い機会であることを念頭におき、個人情報に配慮して企画していきたいと思っています。 |

## 非常時等の対応

### 【課題・工夫している点】

|    |   |   |
|----|---|---|
| ③⑧ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか                                  | マニュアルは作成していますが、保護者向けに説明をしていないので、次年度の課題です。   |
| ③⑨ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難救出その他必要な訓練を行っているか  | 職員のみでの訓練や避難の際に想定されることを議題にして会議を行っています。<br>児童との避難訓練は、固定曜日が決まっているので実施する際には曜日を変えて行っていますが、もう少し頻度を増やしたいと思います。<br>昨年度は二回のみになり、一度は消防士に来ていただき子ども達にレクチャーしてもらいました。 |
| ④⑩ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか   | 特別、虐待をテーマに研修はまだ実施（参加）できていませんが、適切な対応となるよう発達の課題がある子どもたちについてを学習する中で、不適切な対応にならないよう職員会議や振り返りの時間で、話題にしています。   |
| ④⑪ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 危険がある場合のみ、職員が行動を止める行為をせざる負えないことがある児童の保護者の方には、ご家庭と連携して適切な止め方になるよう努め、拘束することがないようにマンツーマンや複数で見守ることをお伝えしています。  |
| ④⑫ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか   | 契約の際にアレルギーの有無をお聞きし、食物アレルギーがある場合は、保護者から状況をお聞きしています。  |
| ④⑬ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  | ヒヤリハットは、記録のほか、全に職員に共有できるようにしています。<br>当事業所以外のヒヤリハット事例を知っておくのは、事故を事前に防ぐのに効果があると思うので、当事業所だけでなく事例集を作成することが課題です。   |